

教科	科目	単位数	種別	年次	
国語	文学国語	2	必修科目	2年	
使用教科書	新編 文学国語(大修館)			担当者	

学習目標
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

学習方法
文学的な文章について評価したり、その解釈の多様性について考察したりする。
自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、自ら課題を設定して探求できるようにする。

育成を目指す資質・能力	育成を目指す資質・能力の評価内容
1 基礎的・基本的学力	基礎的・基本的学力を身につけ、その知識・技能を他の学習や生活の場面でも活用することができる。
2 課題解決能力	社会的諸事象を多面的・多角的に考察して、具体的な課題を設定し、解決に向かうことができる。
3 情報活用能力	多様な着眼点から、適切に情報を収集し、課題解決法や自分の考えの形成に役立てることができる。
4 自己表現力	目的や意図に応じて、自分の考えを分かりやすくまとめ、表現することができる。
5 主体性	課題解決に向け、主体的に追究することができる。
6 協働性	課題に対して、他者と連携し、力を合わせて解決を図ることができる。
7 自己理解	諸活動を通じて自己の在り方生き方を考えることができる。
8 社会貢献(社会参画)	地域社会とのつながりについて理解し、持続可能な社会について考察することができる。

以上の観点をふまえ、授業の取り組みや定期考査、課題の提出状況などを総合的に評価します。

担当者から
授業の取り組みや定期考査、課題の提出状況などを総合的に評価します。

月	大単元	単元(題材)	学習内容	重点評価事項(資質・能力)								単元(題材)の評価規準			評価方法	
				1	2	3	4	5	6	7	8	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
4	随筆	随筆(一)	表面だけでは簡単にはわからない心情や豊かな情景を味わい、文章の中で使うことを通して、語幹を磨く。	○	○	○							作者の言葉には、想像力を豊かにする働きがあることを理解している。	随筆の特徴を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などをとらえている。	文章の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を理解しようとしている。	年4回の定期考査 小テスト などを元に評価する。
6	小説	小説(一)	文学的な文章を読み味わい、文体の特徴や修辞法などの表現を学んで理解する。	○	○	○							情景の豊かさや心情の機微を表す語句を増やし、語感を磨いている。	語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について考察し、内容を解釈することができる。	文学的な文章の題材について情報を収集、整理して、内容を明確にしようとしている。	
9	随筆	随筆(二)	自然や人間などに対するものの見方、考え方、感じ方を読み味わう。	○	○	○							文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解しようとしている。	他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察することができる。	これまでに学んだ随筆と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察することができる。	
11	小説	小説(二)	文学的な文章を読み味わい、題材に応じて情報を収集し、まとめをおこない、物語の内容を把握する。	○	○	○							文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現技法について理解しようとしている。	文章の構成や展開、表現方法を踏まえ、解釈の多様性について考察することができる。	登場人物の心情や情景の描写を、文体の表現の技法等に注意して、理解しようとしている。	
1	韻文	韻文(一)	文体の特徴や修辞法の働きなどを学び、作者の心情を考慮して読み味わう。					○	○	○			詩歌に触れることで、修辞などの知識を養い、自由に発想できるようにする。	作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈している。	作品について、それぞれの観点から考えを深め、自分の発想や考えを確立することができる。	
2	小説	小説(三)	文章の構成や展開、表現方法などについて学び、作者の伝えたいことを感じとり、作者の意図を考察する。				○	○	○				文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解しようとしている。	どのような作品や文章に対しても解釈の多様性があることを理解している。	文章の構成や展開、表現方法などについて、作者の考えを感じとることができる。	

教科	科目	単位数	種別	年次	
国語	探究国語	4	選択科目	2年	
使用教科書	なし			担当者	

学習目標
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

学習方法
古今のさまざまな作品に触れ、その要旨を的確にとらえたとともに作品ごとの特色について理解する。
さまざまな作品を読み比べ、内容や表現などについての批評を通して自身の知識・思考を深める。

育成を目指す資質・能力	育成を目指す資質・能力の評価内容
1 基礎的・基本的学力	基礎的・基本的学力を身につけ、その知識・技能を他の学習や生活の場面でも活用することができる。
2 課題解決能力	社会的諸事象を多面的・多角的に考察して、具体的な課題を設定し、解決に向かうことができる。
3 情報活用能力	多様な着眼点から、適切に情報を収集し、課題解決法や自分の考えの形成に役立てることができる。
4 自己表現力	目的や意図に応じて、自分の考えを分かりやすくまとめ、表現することができる。
5 主体性	課題解決に向け、主体的に追究することができる。
6 協働性	課題に対して、他者と連携し、力を合わせて解決を図ることができる。
7 自己理解	諸活動を通じて自己の在り方生き方を考えることができる。
8 社会貢献(社会参画)	地域社会とのつながりについて理解し、持続可能な社会について考察することができる。

学習評価
以上の観点をふまえ、総合的に評価します。

担当者から
古典から近現代の作品まで、さまざまな文章を読解するとともに、それぞれの作品の批評に取り組み、各自の意見を述べ合います。

月	大単元	単元(題材)	学習内容	重点評価事項(資質・能力)								単元(題材)の評価規準			評価方法				
				1	2	3	4	5	6	7	8	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度					
4	読解、批評	古典随筆	・作品の要旨を的確に把握し、さまざまな角度から検討して作品を批評する。 ・問題演習	○	○									○	古典古文を読むために必要な語彙力や表現方法を高め、伝統的な言語文化に関する理解をより深めている。	作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら、自分の考えを深めている。	作者の捉え方・考え方を理解しようと努め、現代に生きる自分の捉え方・考え方を深めようとしている。	定期考査 課題提出 授業時の取り組み ノートの記載内容 などを元に評価する。	
5		近現代随筆	・作品の要旨を的確に把握し、さまざまな角度から検討して作品を批評する。 ・問題演習	○	○									○	近現代文を読むために必要な語彙や表現方法、漢字の知識等をより豊かにしている。	作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら、自分の考えを深めている。	作者の捉え方・考え方を理解しようと努め、さまざまな作品を比較検討することにより自分の捉え方・考え方を深めようとしている。		
6		古典説話	・作品の要旨を的確に把握し、さまざまな角度から検討して作品を批評する。 ・問題演習	○	○										○	古典古文を読むために必要な語彙力や表現方法を高め、伝統的な言語文化に関する理解をより深めている。	作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら、説話文学の成立事情やモチーフの理解を深めている。	成立した背景や作者の捉え方・考え方を理解しようと努め、現代に生きる自分の捉え方・考え方を深めようとしている。	
7		近現代評論	・作品の要旨を的確に把握し、さまざまな角度から検討して作品を批評する。 ・問題演習	○	○										○	近現代文を読むために必要な語彙や表現方法、漢字の知識等をより豊かにしている。	論理的な文章をその構成のしかたや推論方法により的確に読み取り、論理的な思考力や判断力を高めることができた。	筆者の捉え方・考え方を理解しようと努め、さまざまな作品を比較検討することにより自分の捉え方・考え方を深めようとしている。	
8		古典物語	・作品の要旨を的確に把握し、さまざまな角度から検討して作品を批評する。 ・問題演習	○	○										○	古典古文を読むために必要な語彙力や表現方法を高め、伝統的な言語文化に関する理解をより深めている。	作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら、物語文学の成立事情やモチーフの理解を深めている。	成立した背景や作者の捉え方・考え方を理解しようと努め、現代に生きる自分の捉え方・考え方を深めようとしている。	
9		近現代小説	・作品の要旨を的確に把握し、さまざまな角度から検討して作品を批評する。 ・問題演習	○	○										○	近現代文を読むために必要な語彙や表現方法、修辭法、漢字の知識等をより豊かにしている。	作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら、登場人物の心情を共感をもって深く理解し、自分の考えを深め、感性を磨いている。	作者の捉え方・考え方や登場人物の心情を理解しようと努め、さまざまな作品を比較検討することにより自分の捉え方・考え方を深め、感性を磨こうとしている。	
10		古典日記・紀行	・作品の要旨を的確に把握し、さまざまな角度から検討して作品を批評する。 ・問題演習	○	○										○	古典古文を読むために必要な語彙力や表現方法を高め、伝統的な言語文化に関する理解をより深めている。	作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら、古典の日記文学・紀行文学の成立事情やモチーフの理解を深めている。	成立した背景や作者の捉え方・考え方を理解しようと努め、現代に生きる自分の捉え方・考え方を深めようとしている。	
11		近現代評論2	・作品の要旨を的確に把握し、さまざまな角度から検討して作品を批評する。 ・問題演習	○	○										○	近現代文を読むために必要な語彙や表現方法、漢字の知識等をより豊かにしている。	論理的な文章をその構成のしかたや推論方法により的確に読み取り、論理的な思考力や判断力を高めることができた。	筆者の捉え方・考え方を理解しようと努め、さまざまな作品を比較検討することにより自分の捉え方・考え方を深めようとしている。	

9	近現代小説	・記されている内容についての確に読解し、他者の意見を参考にしながら多角的な視点をふまえて作品を批評する。 ・問題演習	○	○							近現代文を読むために必要な語彙や表現方法・修辭法、漢字の知識等をより豊かにし、意見交換における基本的な作法・態度について身に付けている。	登場人物の心情を共感をもって深く理解し、他者の意見・考えを参照しながら、自分の考えを深め、感性を磨いている。	作者の捉え方・考え方や登場人物の心情を理解しようと努め、さまざまな作品を比較検討することにより自分の捉え方・考え方を深め、感性を磨こうとしている。また、他者の意見・考えに敬意を払いつつ、自分の意見・考えを能動的に述べようとしている。
10	古典日記・紀行	記されている内容についての確に読解し、他者の意見を参考にしながら多角的な視点をふまえて作品を批評する。	○	○							古典古文を読むために必要な語彙力を高め、伝統的な言語文化に関する理解をより深め、意見交換における基本的な作法・態度について身に付けている。	古典の日記文学・紀行文学の成立事情やモチーフの理解を深め、他者の意見・考えを参照しながら、自分の考えを深めている。	成立した背景や作者の捉え方・考え方を理解しようと努め、現代に生きる自分の捉え方・考え方を深めようとしている。また、他者の意見・考えに敬意を払いつつ、自分の意見・考えを能動的に述べようとしている。
11	近現代評論2	記されている内容についての確に読解し、他者の意見を参考にしながら多角的な視点をふまえて作品を批評する。	○	○							近現代文を読むために必要な語彙や表現方法、漢字の知識等をより豊かにしている。	論理的な文章をその構成のしかたや推論方法に依り的確に読み取り、論理的な思考力や判断力を高め、他者の意見・考えも参照しながら、自分の考えを深めている。	筆者の捉え方・考え方を理解しようと努め、さまざまな作品を比較検討することにより自分の捉え方・考え方を深めようとしている。また、他者の意見・考えに敬意を払いつつ、自分の意見・考えを能動的に述べようとしている。
12	古典漢文故事・漢詩	・記されている内容についての確に読解し、他者の意見を参考にしながら多角的な視点をふまえて作品を批評する。 ・問題演習	○	○							古典漢文を読むために必要な語彙力を高め、訓読の方法、漢詩のきまりなどに関する理解をより深めている。	故事や漢詩の成立事情やモチーフ・思想の理解を深め、他者の意見・考えを参照しながら、自分の考えを深めている。	成立した背景や作者の捉え方・考え方を理解しようと努め、現代に生きる自分の捉え方・考え方を深めようとしている。また、他者の意見・考えに敬意を払いつつ、自分の意見・考えを能動的に述べようとしている。
1	近現代小説2	・記されている内容についての確に読解し、他者の意見を参考にしながら多角的な視点をふまえて作品を批評する。 ・問題演習	○	○							近現代文を読むために必要な語彙や表現方法・修辭法、漢字の知識等をより豊かにし、意見交換における基本的な作法・態度について身に付けている。	登場人物の心情を共感をもって深く理解し、他者の意見・考えを参照しながら、自分の考えを深め、感性を磨いている。	作者の捉え方・考え方や登場人物の心情を理解しようと努め、さまざまな作品を比較検討することにより自分の捉え方・考え方を深め、感性を磨こうとしている。また、他者の意見・考えに敬意を払いつつ、自分の意見・考えを能動的に述べようとしている。
2	古典和歌	・記されている内容についての確に読解し、他者の意見を参考にしながら多角的な視点をふまえて作品を批評する。 ・問題演習	○	○							古典古文を読むために必要な語彙力を高め、伝統的な言語文化に関する理解をより深め、意見交換における基本的な作法・態度について身に付けている。	作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら、他者の意見・考えも参照しつつ個々の和歌の成立事情やモチーフ・心情の理解を深めている。	成立した背景や作者の捉え方・考え方を理解しようと努め、現代に生きる自分の捉え方・考え方を深め、表現方法に生かそうとしている。また、他者の意見・考えに敬意を払いつつ、自分の意見・考えを能動的に述べようとしている。
3	近現代短歌・俳句	・記されている内容についての確に読解し、他者の意見を参考にしながら多角的な視点をふまえて作品を批評する。 ・問題演習	○	○							近現代文を読むために必要な語彙や表現方法・修辭法、漢字の知識等をより豊かにし、意見交換における基本的な作法・態度について身に付けている。	作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら、他者の意見・考えも参照しつつ個々の和歌や俳句の成立事情やモチーフ・心情の理解を深めている。	成立した背景や作者の捉え方・考え方を理解しようと努め、さまざまな作品を比較検討することにより自分の捉え方・考え方を深め、感性を磨こうとしている。また、他者の意見・考えに敬意を払いつつ、自分の意見・考えを能動的に述べようとしている。

教科	科目	単位数	種別	年次
国語	文章表現	2	選択科目	異年次合同
使用教科書	なし		担当者	

学習目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。	
学習方法	近現代の文章に多く触れ、それぞれの作品における表現の特色を鑑賞ながら読解する。 それぞれの作品における表現技法の特長をふまえて文章を綴る。	
学習評価	育成を目指す資質・能力	
	育成を目指す資質・能力の評価内容	
	1 基礎的・基本的学力	基礎的・基本的学力を身につけ、その知識・技能を他の学習や生活の場面でも活用することができる。
	2 課題解決能力	社会的諸事象を多面的・多角的に考察して、具体的な課題を設定し、解決に向かうことができる。
	3 情報活用能力	多様な着眼点から、適切に情報を収集し、課題解決法や自分の考えの形成に役立てることができる。
	4 自己表現力	目的や意図に応じて、自分の考えを分かりやすくまとめ、表現することができる。
	5 主体性	課題解決に向け、主体的に追究することができる。
	6 協働性	課題に対して、他者と連携し、力を合わせて解決を図ることができる。
	7 自己理解	諸活動を通じて自己の在り方生き方を考えることができる。
8 社会貢献(社会参画)	地域社会とのつながりについて理解し、持続可能な社会について考察することができる。	
	以上の観点をふまえ、総合的に評価します。	
担当者から	言語力を身につけながら、多くの文章に触れながらさまざまな表現を鑑賞するとともにそこに込められた内容を読解します。さらにはそうした表現の特色を鑑みながら実際に文章を著していきます。	

月	大単元	単元(題材)	学習内容	重点評価事項(資質・能力)								単元(題材)の評価規準			評価方法		
				1	2	3	4	5	6	7	8	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
4	近現代の文章表現の言語力を身につけながら鑑賞と読解、執筆	随筆の表現	作品の表現方法に留意しながら記されている内容についての的確に読解し、その表現技法にのっとり文をしたためる。	○	○		○							話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、わかりやすさ、適切さ、経緯と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解している。	書くことにおいて、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や文体、語句などの表現の仕方を工夫している。	話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、言葉遣いについて理解し、自分の考えが的確に伝わるよう表現の仕方を工夫しようとしている。	考查、課題提出、授業時の取り組み、言語力ドリル、現代語練習帳などを元に評価する。
5		評論の表現	作品の表現方法に留意しながら記されている内容についての的確に読解し、その表現技法にのっとり文をしたためる。	○	○		○							文章の種類に基づく効果的な組み立て方や段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。	書くことにおいて、文章の構成や展開、表現の仕方について、自分の主張が的確に伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。	文章の種類に基づき、効果的な組み立て方や、文章構成、展開の仕方について理解し、自分主知用が的確に伝わるように書かれているか吟味し、文章を整えながら自分の文章を捉え直そうとしている。	
6		小説の表現	作品の表現方法に留意しながら記されている内容についての的確に読解し、その表現技法にのっとり文をしたためる。	○	○		○							文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。	書くことにおいて、文学的な文章を書くために、選んだ題材に応じて情報を収集、整理して、表現したいこと明確にしている。	文学的な文章やそれに関する文章の種類などについて理解を深め、文学的な文章を書くための情報収集をして、表現したいことを明確にしようとしている。	
7		詩の表現	作品の表現方法に留意しながら記されている内容についての的確に読解し、その表現技法にのっとり文をしたためる。	○	○		○							情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	読むことにおいて、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。	情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、語感を豊かにし、作品の解釈を踏まえた感じ方、考え方を深めようとしている。	
8		短歌・俳句の表現	作品の表現方法に留意しながら記されている内容についての的確に読解し、その表現技法にのっとり文をしたためる。	○	○		○							言葉には文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。	読むことにおいて、作品の文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。	言葉には文化の継承、発展、創造を支えている働きがあることを理解し、内容の解釈を深めようとしている。	
9		日記の表現	作品の表現方法に留意しながら記されている内容についての的確に読解し、その表現技法にのっとり文をしたためる。	○	○		○							自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して語感を磨き語彙を豊かにしている。	書くことにおいて、自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したりするなど表現の仕方を工夫している。	自分の思いや考えを多彩に表現する語句を増し、自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写するために表現を工夫しようとしている。	

10	スピーチ原稿の表現	作品の表現方法に留意しながら記されている内容についての的確に読解し、その表現技法にのっとり文をしたためる。																	文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。	書くことにおいて、情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠を揃えている。	文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深め、情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場を明確にするための根拠を揃えようとしている。
11	広告の表現	作品の表現方法に留意しながら記されている内容についての的確に読解し、その表現技法にのっとり文をしたためる。																	情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め、使っている。	読むことにおいて、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。	情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解し、目的に応じた文章や図表に含まれた情報を関係づけながら文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めようとしている。
12	随筆の表現 再び	作品の表現方法に留意しながら記されている内容についての的確に読解し、その表現技法にのっとり文をしたためる。																	話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、わかりやすさ、適切さ、経緯と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて更に理解し、使っている。	書くことにおいて、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や文体、語句などの表現の仕方を工夫し、的確に表現している。	話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、言葉遣いについて理解し、自分の考えが的確に伝わるよう表現の仕方を工夫しようとしている。
2	評論の表現 再び	作品の表現方法に留意しながら記されている内容についての的確に読解し、その表現技法にのっとり文をしたためる。																	文章の種類に基づく効果的な組み立て方や段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方についてよく理解を深めている。	書くことにおいて、文章の構成や展開、表現の仕方について、自分の主張が的確に伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直し、改善できている。	文章の種類に基づき、効果的な組み立て方や、文章構成、展開の仕方について理解し、自分主知用が的確に伝わるように書かれているか吟味し、文章を整えながら自分の文章を捉え直そうとしている。

教科	科目	単位数	種別	年次	
国語	総合古典	3	選択科目	3年	
使用教科書	なし			担当者	

学習目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。	
学習方法	(1)指導事項 古典に用いられている語句の意味、用法を理解し、内容を構成や展開に即して的確にとらえる。 (2)言語活動 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合う。	
学習評価	育成を目指す資質・能力	育成を目指す資質・能力の評価内容
	1 基礎的・基本的学力	基礎的・基本的学力を身につけ、その知識・技能を他の学習や生活の場面でも活用することができる。
	2 課題解決能力	社会的諸事象を多面的・多角的に考察して、具体的な課題を設定し、解決に向かうことができる。
	3 情報活用能力	多様な着眼点から、適切に情報を収集し、課題解決法や自分の考えの形成に役立てることができる。
	4 自己表現力	目的や意図に応じて、自分の考えを分かりやすくまとめ、表現することができる。
	5 主体性	課題解決に向け、主体的に追究することができる。
	6 協働性	課題に対して、他者と連携し、力を合わせて解決を図ることができる。
	7 自己理解	諸活動を通じて自己の在り方生き方を考えることができる。
	8 社会貢献(社会参画)	地域社会とのつながりについて理解し、持続可能な社会について考察することができる。
	以上の観点をもまえ、総合的に評価します。	
担当者から	古典を学ぶということは単に教科書を読んで、文法を学んで、読解を深めることだけではありません。学習を通じて考えを深め、主体的に学ぶ姿勢をどこまでもてるようになるかが重要です。時代の変化の中で、人の生き方、考え方等において、変わるもの、変わらないものを意識するとさらに読みが深くなります。そうした姿勢で学べば、今後の人生にも学んだことが生きていきます。	

月	大単元	単元(題材)	学習内容	重点評価事項(資質・能力)								単元(題材)の評価規準	評価方法		
				1	2	3	4	5	6	7	8				
4	古文編	1 説話	演習問題	○	○			○					a. 説話、随筆、物語についての基本的な読解力が身につけている。 b. 説話、随筆、物語について興味・関心をもち取り組んでいる。 c. 作品の内容について思考を深めることができている。	・授業態度 ・単元及び課題テスト ・提出物の状況 ・定期考査	
4		2 随筆	演習問題	○	○			○							
5		3 物語	演習問題	○	○			○							
5	漢文編	1 故事成語	演習問題	○	○			○					a. 漢詩に用いられている語句の意味、用法について理解している。 b. 漢詩を読んで、内容を構成や展開に即して的確にとらえている。		
5		2 漢詩	演習問題	○	○			○							
6	古文編	5 物語	演習問題	○	○			○					a. 説話、日記、物語についての基本的な読解力が身につけている。 b. 説話、随筆、物語について興味・関心をもち取り組んでいる。 c. 作品の内容について思考を深めることができている。		
6		6 日記	演習問題	○	○			○							
6		7 物語	演習問題	○	○			○							
7	漢文編	4 文章	演習問題	○	○			○					a. 漢文に用いられている語句の意味、用法について理解している。 b. 漢文を読んで、内容を構成や展開に即して的確にとらえている。		
7		5 思想—儒家	演習問題	○	○			○							
8	古文編	1 説話	演習問題	○	○			○					a. 説話、随筆、物語、日記についての基本的な読解力が身につけている。 b. 説話、随筆、物語、日記について興味・関心をもち取り組んでいる。 c. 作品の内容について思考を深めることができている。		
9		2 随筆	演習問題	○	○			○							
9		3 物語	演習問題	○	○			○							
9		4 日記	演習問題	○	○			○							
10	漢文編	3 漢詩	演習問題	○	○			○					a. 漢詩に用いられている語句の意味、用法について理解している。 b. 漢詩を読んで、内容を構成や展開に即して的確にとらえている。		
10		4 文章	演習問題	○	○			○							
10		5 思想	演習問題	○	○			○							
11	古文編	5 物語	演習問題	○	○			○					a. 物語、評論、小説についての基本的な読解力が身につけている。 b. 物語、評論、小説について興味・関心をもち取り組んでいる。 c. 作品の内容について思考を深めることができている。		
11		6 評論	演習問題	○	○			○							
11			演習問題	○	○			○							
12			演習問題	○	○			○							
12			演習問題	○	○			○							
12		7 近世の小説・浄瑠璃	演習問題	○	○			○							
1		演習問題	○	○			○								
1	漢文編II	6 長恨歌と日本の文学	演習問題	○	○			○					a. 漢詩を読んで、内容を構成や展開に即して的確にとらえている。		

